

チャリティーラン 「走ったよ！」

チャリティーラン参加の感想

藤原 琢也
1位を取るとの目標の下参加しました、チームユース、ひろっち(菊池君)水越ワイズと藤原で疾走の予定でした。走者の変更もあり学童保育利用者の保護者のお母様と、ポカキラの利用者の子のチームで走りました。

学童の保護者のお母様とはレース前に色々雑談話をしてリラックスしてチャリランに挑みました。レース後に「参加して良かった」と参加者のリアルの声を聞けてとてもよかったです。親子とも素晴らしい笑顔でした。

りんごの木の利用者さんがアンカーで、一生懸命走り、ひろっちが利用者の子とゴール前を並走している姿に感動しました。(最後はチームの皆でゴール走りたかった)利用者の方、YMCA、ワイズメンズが三位一体を深く感じたイベントになりました。

ユースチームは皆さんの心の中では一等賞を取ったとは思っていますが、どうですか？皆さんの感想を聞かせて下さいね！！

スタート前に皆さんの大丈夫か？走れるの？の声も頂きましたが、不肖藤原、すみません、走りきりました！藤原はやれば出来るんです。

来年もユースチームとして参加し一位を取りに行きますが、私はもうそろそろ走れませんが、次回は水越キャプテンが1位を目指します。

追伸

7月のユース主催イベント楽しみにしておいて下さい。着々と進んでいます！



ひろっち(菊池君)ゴール前の併走



レースの前のひととき。どきどき・。

《5月例会出席者》

会員数	52名
例会出席者数	42名(×37名×2名 ゲスト3名)
メイキャップ	3名(他の行事に参加 ×6名)
出席率	(37+3)÷52=77% (6/6現在)

YMCA便り

「喜び・祈り・感謝」

総主事 中田 純子

5月21日土曜日、山梨YMCA「インターナショナルチャリティーラン2022」が無事に開催されました。当日実施決定後から雨が降り出し、不安を覚え祈りながら準備をはじめた運営関係者。しかし、開会式と同時に雨が上がり予定通り実施することが出来、素晴らしい大会となりました。本当に感謝申し上げます。

今回ワイズメンズクラブから80名ほどの皆様にご協力頂きました。実施まで6回の実行委員会を重ねました。お忙しい中出席して下さいましたワイズメンズクラブの皆様、関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。新米総主事の私にとって、この日は喜びと感謝に溢れた忘れられない一日となり、2022年度の山梨YMCA基本聖句テサロニケの信徒への手紙「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」信徒への手紙-5章16~18節を実感いたしました。

山梨YMCAはワイズメンズクラブの皆様と共にこのような歩豊かな歩みを与えられていることは、全国のYMCA運動の中でも特に誇れることであり喜びと感謝そのものです。これからも、ワイズメンズクラブとYMCAの良きパートナーシップが山梨の地においてよりよい地域づくり、人づくりのための助けとなれるように祈ります。

みなさま ありがとうございます。



第11回障がい者フライングディスク大会



5月7日晴れ。富士五湖クラブ主催のフライングディスク大会へ応援団！選手70名が富士山のもと、頑張りました。



ブリテン委員長 水越正高 2022年6月7日(火) 発行



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

- 国際会長主題: "Y's Men with the world" (世界とともにワイズメン) キム・サンチェ (韓国) スローガン "Heal the World with Love & Dignity" 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長主題: "Make a difference beyond the 100th" 大野 勉 (神戸ポート) スローガン "Be healthy!" 「健康第一！」
- 東日本区理事主題: 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」 "Think for the next generation". 大久保知宏 (宇都宮) スローガン 「絆を深めるとき」 "We are stronger together than we are alone"
- あずさ部長主題: 「道を拓く~愛と協力によって」 長谷川 あや子 (東京八王子)
- 甲府21クラブ主題: 「地域貢献を活力に！」 "Fundraising through Community Service!" 米長晴信

甲府21ワイズメンズクラブ
2022年6月会報
評 価

〈今月の聖句〉

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるといふこと、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事はすでになんかえられたと知るので。(ヨハネの手紙第1 5章14節-15節)

選者 山縣 讓治

ブリテン6月号 会長あいさつ

会長 米長 晴信



世界的にコロナに関する社会生活が屋外でのマスク不着用など以前のように戻りつつあります。一方、中国ではゼロコロナ政策を取っており、感染しないように「健常者」を隔離するという極端な措置をしているとテレビで報じていました。日本はそこまでありませんが、まだエチケット的にマスクをしていないと他の人に不快感を与える風潮で、外国からの観光客の受け入れもようやく今月から段階的に受け入れて行くという状況で他の先進国に比べて遅れています。安心してマスクをしなくてもいように感染者数が減って欲しいものです。

今年度最後の大きなイベント、チャリティーランが開催されました。4x100m、4x400m、5x1000m リレーと、初めての要領でレースが行われましたが、皆様の協力でも素晴らしい大会になりました。甲府21クラブの作業は準備、誘導、レーズ運営、後片付けなどですが、どこをとっても人海戦術が必要な大変な作業です。私の反省点の一つは、点呼を「出席」「欠席」と単純に分けてしまった事です。開始が土曜日の早朝ですので、朝の準備だけなら手伝える事ができた方も多かったと思います。このようなイベントであれ、例会であれ、部分参加も大歓迎です。せっかく高い年会費を納めて会員になっていただいているので、少しでも多くの活動に顔を出していただきたいと思っています。

私の会長任期もこれで終わりとなります。来年度は甲府21が東日本区を受け持つ事となりますので、佐藤理事、廣瀬会長を全員で支えて東日本区大会など大きな行事を成功させて行きたいと思っています。

1年間皆様のご協力、ありがとうございました。

《6月第一例会プログラム 6月7日(火)》

日時 2022年6月7日(火) 19:00
会場 山梨YMCAグローバルコミュニティセンター
形態 通常開催

司会 小俣寛書記

1. 開会点鐘
2. ワイズソング
3. ワイズの信条
4. 今月の聖句・一言 山縣讓治メン
5. 会長あいさつ・ゲスト紹介 米長晴信会長
6. 委員会報告 各委員長
7. 会員スピーチ 清藤城宏メン・露木魁人メン・村上由美子メン
8. ハッピーバースデー
9. ゲストスピーチ 元NHKチーフアナウンサー 末利光様
10. 諸報告
11. YMCAの歌
12. 閉会点鐘

【敬称略】

《6月の誕生者》

Happy Birthday!

<メン>	<メネット>
戸田 秀幸 (6/3)	赤根 教子 (6/9)
野々垣健五 (6/5)	古屋 律子 (6/26)
寺田 喜長 (6/13)	(敬称略)
水越 正高 (6/14)	
奈良田和也 (6/18)	
野々垣和宏 (6/21)	
清水 公一 (6/24)	



◇例会報告◇



2022年5月第一例会報告
日時 2022年5月10日(火) 19:00~
会場 山梨YMCAグローバルコミュニティーセンター
※ 通常開催

通常開催となった第一例会は、31名のメン&メネット+ゲスト3名、合計34名の参加を得る中で久々の活気ある例会となりました。

冒頭、米長会長から、残すところ僅かとなった本年度の活動を振り返り、改めて、ワイズとして何が出来るか、ワイズの行っている様々事業について広く知っていただくことの必要性と同時に、我々の活動が社会の中で大きな役割を果たし国際的にも貢献しているのだという自覚と誇りをもって今後も活動していきましょう!...との熱いメッセージが投げかけられました。

会員スピーチでは、甲府商店街連盟の会長である長坂善雄メンから、市中心部がコロナの影響で大変な状況にあること、商店街の様々な行事の開催に関わる課題などが話され、「金がなくても知恵を出せ!」と商店街のメンバーみんなで励まし合って安心安全な街づくりのために頑張っている様子が話されました。

続いて、甲府21クラブ会員52人目となる福山平(ひとし)さんを新たにお迎えする入会式が行われました。福山さんからは、山梨の美味しいフルーツを日本中にそして世界で紹介していきたいという夢と、入会を機に何か人の役に立つような活動をしていきたいとの意気込みが語られました。

最後に第一例会の卓話として、山梨YMCAの福田奈里子様と山梨YMCAユースリーダー会の菊地央人(ひろと)様お二人のゲストスピーチをいただきました。福田様からは、YMCAの担い手としての「Y's x SDGs Youth Action」のユースを育てる事業についての説明、菊地さんからは、「Y's Youth Action! 2022」についてのプレゼンをいただきました。ゲーム感覚でのゴミ拾いイベント「清掃中 甲府!」や「山梨ユース オリジナル企画・運営プログラム」など、コロナ禍の中でこそその価値ある大切な活動を紹介していただきました。今後、ユースとの連携したクラブの活動を示唆する内容であったように感じました。ありがとうございました。

◆◆諸報告◆◆
・5月14日、長野善光寺で開催される「第3回あずさ部評議会」への参加呼びかけ
・チャリティーラン(5月21日(土)開催)の役割分担等についての素案提示
・5月の第二例会の確認→できるだけ多くの参加を得るため Zoom 開催
★参加者数34名(メン30名、メネット1名、ゲスト3名)

2022年5月第二例会報告

日時 2022年5月17日(火) 18:30~
会場 山梨YMCAグローバルコミュニティーセンター
※ Zoom 併用によるハイブリッド開催

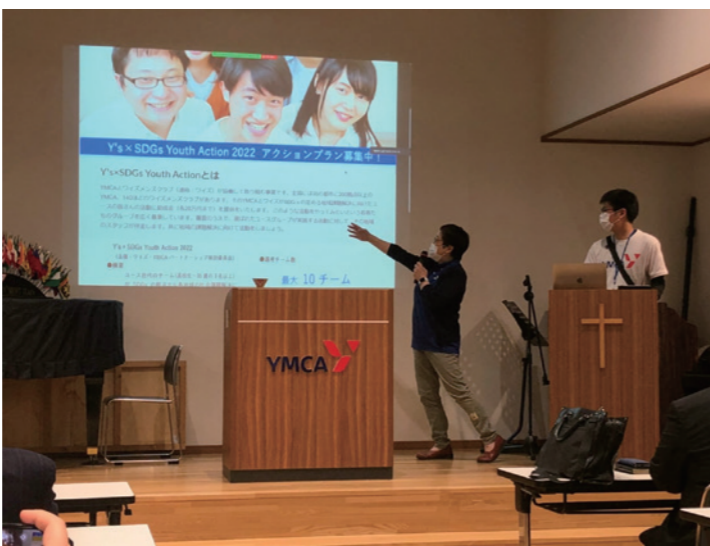
5月第二例会は、チャリティーランを直前に控えての最終確認の重要な場となるため、できるだけ多くの甲府21メンバーの参加を...との考えから、ハイブリッド開催としま

した。チャリティーランに向けての確認の中では、荻野レース部長と米長会長より、①当日の役割分担、②各担当の具体的な役割、③タイムスケジュールの変更、④必要物品、⑤待機場所、⑥実施判断の連絡時間、⑦持ち物...等々、細部にわたっての具体事項が提案され、チャリティーランのレース運営等について全体で確認されました。

◆◆諸報告◆◆
・6月4日(土)・5日(日)開催の「東日本区大会」へのZoom参加呼びかけ
・その他
★参加者数 29名(メン28名、メネット1名)



ようこそ! 甲府21ワイズメンズクラブへ



ワイズとYMCAとYOUTHが三位一体で行います!



咲け! みんなのヒマワリ。ウクライナ支援。

チャリティーラン 2022

5月21日(土曜)



チャリティーランレポート

第24回山梨YMCA国際チャリティーランが5月21日土曜日に無事開催されました。

今年度2回目の開催となった本チャリティーランは、前回は規模を縮小しての開催となりましたが、コロナ禍2回目との開催ということもあり、企業や各種団体の皆様も実際の走者として参加された記念すべき大会となりました。早朝には小雨が降る中の天候が読めない状況でしたが、準備が完了し開会式が始まるころには雨も止み、絶好のイベント日和となりました。

幼児~大人まで参加するこのチャリティーランのイベントが、感染症対策を講じながらも無事に開催できるのも携わる様々な皆様のお力の賜物です。

受付を済ませ準備をする参加者の皆さんの顔を見ると、仲間と共に走る喜びに期待する笑顔をたくさんお見掛けしました。様々な人が参加されるイベントを通してYMCAの取り組みや活動に多くの人が興味を持つ機会ができることをうれしく思います。

またレースに全力で取り組むランナーに対しての熱い声援や応援、拍手の様子をみると、このイベントが長く続いてきた歴史、参加数の多さを肌で感じました。

大会の中ではレースだけでなく、フライングディスクを体験できるブースが設けられ、5月に富士五湖クラブ主催となって行われた大会に引き続き、多くの参加者の方にフライングディスクを知っていただく機会となりました。

甲府21ワイズメンズクラブでは本大会においてレース部を務め、受付担当及び、レースの指揮、案内業務や各種準備を担当、甲府21のメンバーも忙しい休日の中ですが多くの方に参加していただき、無事に会を終了することができました。

本チャリティーイベントが脈々と続き、青少年育成の力となり続けることを切に祈っております。

ブリテン委員長 水越正高



会計報告 (2022年5月末現在)

Table with 4 columns: 項目, ニコニコボックス, パザー収益金, クリスマスオークション. Rows include 目標値, 5月の合計, 5月末迄累計, and 達成率.